

住友ゴムグループ CSR活動基本理念

CSR理念	住友ゴムグループは、地球環境や社会を GENKI にする活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献し、社会から信用される企業グループを目指します。		
CSRガイドライン	G	 緑化 GREEN INITIATIVE	1. 「森づくり」を通じた地球温暖化防止への貢献 2. 「森づくり」を通じた地域との交流
	E	 事業活動の環境負荷低減 ECOLOGICAL PROCESS	3. CO ₂ 排出量の低減 4. グローバル環境経営の推進
	N	 次世代型技術・製品の開発 NEXT-GENERATION PRODUCT DEVELOPMENT	5. 環境配慮商品の開発 6. 「安全・快適」「経済性」「品質」の追求
	K	 人にやさしい諸施策 KINDNESS TO EMPLOYEES	7. 人材育成と働きがいの向上 8. 安全で働きやすい職場づくり 9. ワークライフバランスの推進
	I	 ステークホルダーへの誠実さ INTEGRITY FOR STAKEHOLDERS	10. コーポレート・ガバナンスの充実 11. コンプライアンスの徹底 12. ステークホルダーとの対話促進 13. 社会貢献活動の推進

住友ゴムグループは、長期ビジョンで掲げる長期持続的な成長と価値創造を実現していくためには、経済的価値のみならず社会的価値向上への取り組みが不可欠だと考え、CSR活動を積極的に推進しています。

100%

国内全工場における天然ガスへの燃料転換比率

0%

住友ゴムグループ全工場が発生した廃棄物のうち埋め立て処分される廃棄物の割合

100 万本

2009年から3年間の累計植樹本数

CSR トピックス

100万本の植樹達成

住友ゴム工業グループは、2009年、創業100周年を機に、国内外の拠点やその周辺地域において20年をかけ100万本の木を植えるという「100万本の郷土の森づくり」プロジェクトを開始しました。その一環であるチームエナセーブキャンペーンによるお客さま参加型のマングローブ植樹がご好評を頂き、当初の目標を遥かに上回るペースで植樹が進んだことにより、2011年にわずか3年で100万本の植樹を達成しました。（※2012年中に植樹完了予定。）現在は次の目標を計画中です。住友ゴムグループは、今後も世界各地での緑化活動を推進していきます。



生物多様性保全

住友ゴムグループは、全国の拠点で生物多様性の保全活動を行っています。ダンロップスポーツ市島工場（兵庫県）では、敷地内で、従業員の手により、準絶滅危惧種である国蝶オオムラサキの育成をエサとなるエノキの栽培から実施し、取り組み開始から4年目の2011年羽化に成功、また、その他の緑化活動も評価され、「平成23年度緑化優良工場等近畿経済産業局長賞」を受賞しました。また、神戸本社や名古屋工場では、ビオトープを従業員自らの手で造成し、稀少種の育成を行っています。住友ゴムグループは今後も従業員の手による生物多様性保全活動を行っています。



CSR基金助成

住友ゴム工業(株)は、地球環境問題をはじめとする社会問題の解決に向けた多様な活動を支援するため、2009年7月住友ゴムCSR基金を設立し、趣旨に賛同した従業員の給与から毎月200円の募金とその同額を会社が上乗せして拠出するマッチングギフト方式で運営しています。

助成の対象は、生物多様性を含む環境保全、災害支援、交通安全、その他当社グループ事業所所在地における固有の社会問題の解決、のいずれかに取り組む団体の活動としており、2011年6月に実施した第2回助成では、助成先を前年度の3地域・8団体から拡大し、福島県、東京都、愛知県、大阪府、兵庫県、宮崎県の6地域17団体に助成を行いました。



東日本大震災復興支援

住友ゴムグループは、東日本大震災復興支援の一環として、総額1億円を福島県、宮城県および岩手県に寄付、また、グループ従業員の募金により1,045万円を日本赤十字社に寄付しました。さらに、仮設住宅用ガス管、作業用手袋などの物品約1億円相当を提供するとともに、被災者支援および復興に向けた活動を実施するNPO7団体に対して活動資金の助成を実施。また、従業員から公募して、4回にわたり被災地にボランティア隊を派遣し、がれき撤去や清掃作業の手伝いを行いました。



当社グループのCSR活動の詳細につきましては、「CSR報告書」をご覧ください。当社グループのホームページ「CSRの取り組み」のページにも掲載しています。

<http://www.srigroup.co.jp/csr/index.html>